

9/9(金)

【分科会 17】地活や事業所におけるリカバリー

話題提供：細野恵（地域活動支援センターもくせい舎）

岩崎映美子（社会福祉法人共生会 相談支援センターきさらぎ）

松岡広樹（特定非営利活動法人じりつ）

進行：内山澄子（NPO 法人 全国精神障害者地域生活支援協議会あみ）

ADHDという特性をもった細野恵さんから、地活での出会いを通して、さまざまな情報を得て障害年金を申請し週3日のアルバイトを始めた様子、そして、アロマでリラクゼーションの時間を持ち、地活では仲間とのおしゃべりやレクリエーションを楽しみ、家事はヘルパーさんにお手伝いしてもらっているご自身のリカバリー体験についてのお話を聞きました。

相談支援センターで相談支援専門員として働いている岩崎映美子さんからは、現場での利用者さんのリカバリーをしていく様子と、知的障害者の支援の仕事から現在の仕事に移ってこられた経過の中での、ご自身のリカバリーについて語っていただきました。

埼玉県の宮代町に拠点を置く活動をされている松岡広樹さんからは、「リカバリーとは？」のお話の後、利用者さんたちの地域での活動（清掃・キャンドルナイトのイベント等）を通して、町内会や小学生などとのたくさんの出会いが生まれ、地域とともにリカバリーをされていくお話を伺いました。

その後、参加者2～3人の小グループに分かれ、ご自身や利用者さん、地域のリカバリー体験について話していただいた後に、発表。会場全体で体験を分かち合いました。

《内山澄子（NPO 法人 全国精神障害者地域生活支援協議会あみ）》